

東大阪市でのカジノアンケート結果一覧 (8月29日～実施 9月19日現在)

Q 質問項目	A 選択回答
① カジノ建設をどう思われますか？	A: 賛成 I: 反対 U: どちらともいえない
② 夢洲は地盤や液状化が懸念されますが、巨大施設を作るのに適当な土地かだと思われますか？	A: 適当と思う I: 思わない U: どちらともいえない
③ 税金から約790億円の公金が投入されようとしていますどう思われますか？	A: 賛成 I: 反対 U: どちらともいえない
④ 年間2,000万人(うち国内は1,400万人)の来場者を見込んでいますが、この人数についてどう思われますか？	A: 妥当 I: 過大である U: どちらともいえない
⑤ 治安悪化(マネーロンダリングなども)が懸念されていますがどう思われますか？	A: 治安は悪化しない I: 治安悪化は困る U: どちらともいえない
⑥ ギャンブル依存症必ず出てくると言われています(客の2パーセント)、どうお考えですか？	A: 対策するからよい I: 対策では解決しない U: どちらともいえない
⑦ カジノを作れば大阪の経済は良くなると思われますか？	A: 思う I: 思わない U: どちらともいえない
⑧ 地域住民と話し合いをして、合意はできていると思われますか？	A: 思う I: 思わない U: どちらともいえない
⑨ 子どもたちの未来にカジノは必要と思われますか？	A: 思う I: 思わない U: どちらともいえない

市会議員予定候補	所属	お考えなど	ご意見等
宮本千恵	無所属	① U	
		② I	
		③ I	
		④ I	
		⑤ I	
		⑥ I	
		⑦ I	
		⑧ I	
		⑨ I	子どもは希望です
吉村大貴	参政党	① I	
		② I	
		③ I	
		④ U	国内多すぎ
		⑤ I	
		⑥ I	
		⑦ I	知らない
		⑧ U	
		⑨ I	
上山博史	無所属	① 未選択	IR(統合型リゾート)とは、国際会議場や展示場、ホテル、エンターテインメント施設等様々な施設で構成されており、カジノもその中の一施設であり、IR=カジノではないという観点からIRそのものを否定しない立場です。ただし、夢洲IRについては、来場者数の見込みや収益に占めるカジノ施設の売り上げ想定について、下記4及び7に記述の通り疑問に思う点があります。
		② 未選択	行政として負の遺産的な未利用地を有効活用すること自体は妥当な発想であり、廃棄物や残土の埋め立て地という性格上、何らかの開発するには所要の地盤改良等が必要になるかと思われま。ただし、臨海部という立地から、大規模地震等災害時には周辺道路やライフラインが寸断・停止する恐れがあり、多くの来場者が長時間の滞留を余儀なくされることを想定した安全性の確保計画の策定・確認や継続的な図上・実地訓練が重要かと考えます。
		③ 未選択	このような臨海部における特定の開発事業に対しては、府民・市民の税金である一般財源を使うのではなく、特別会計の中で土地の売却や賃料収入等により賄うのが通常であると考えます。なお、万博会場建設費で問題になっているように、費用の上振れには注視する必要があります。
		④ 未選択	想定来場者数については、疑問を呈するところがあります。国内有数のテーマパークである東京ディズニーリゾート(TDR)と比較すると、面積→TDL:100ha(隣接ホテル除く)、夢洲IR:49ha(計画)、来場者数→TDL:3000万人程度、夢洲IR: 2000万人(計画)、面積が2分の1に対して、年間来場者数は3分の2となっており、オールテーマパークである施設よりかなり強気の計画となっており、この点は疑問を呈するところです。
		⑤ 未選択	IRの一施設としてカジノが含まれるという点で、治安について不安視する府民の方は少ない状況かと思えます。治安の悪化やマネーロンダリングなどの犯罪が発生すれば、IR事業全体へのダメージは計り知れないわけですから、運営面において、事業者はもちろんのこと、府・市・警察が連携して、治安に対しては最大限の取り組みがなされるものと推察されますが、注視していく必要があると考えます。
		⑥ 未選択	ギャンブル依存症は、ギャンブルにのめりこんでコントロールができなくなる精神疾患のひとつであり、2018年には「ギャンブル等依存症対策基本法」が公布され、国や地方公共団体に対し、依存症の予防や啓発、患者、家族への支援等の対策を計画的に推進することが義務化されており、今後とも継続的な取り組みが重要であると考えます。ギャンブルへののめりこみの要因の一つに、そのアクセス性があげられると思いますが、現在の公営ギャンブル等(競馬、競輪、競艇、オートレース等)においては、入場規制が困難な状況に対して、カジノにおいては、身分証明書の提示や入場回数制限、本人及び家族の申し出による利用制限措置など、まず入口部での対策がなされる点で大きく違いがあるかと思われま。この点についても、前項、治安の悪化同様、注視していく必要があると考えます。
		⑦ 未選択	経済波及効果については、ある経済活動がきっかけとなって、その影響が次々とほかの経済活動にも及んで行くものですから、これだけの大規模開発となれば、波及効果は大きいと考えられます。開発における経済効果には、IR施設の建設によるものと施設整備後の運営によるものがあるかと思われま。建設部門においては、土木・建築・電機・機械・通信設備などの分野への直接的な効果が大きいと思われま。開業後の運営においては、IRの様々な施設における雇用の創出や施設・設備の維持管理にかかる各種調達のほか、観光・飲食・清掃・クリーニング・医療等のサービス業等への間接的な効果が期待されると思われま。一方で、夢洲IRの売り上げにおいては、全体で約5200億円のうち約9割(約4200億円)をカジノ業者が占めるという見通しを立てております。シンガポールのIRなどを参考に試算されているかと思われまが、IR施設全体に占める延べ床面積が3%以内という規模からすると、感性的にはバランスを欠くと思われるのと、そもそもカジノ施設がなければ成り立たないスキームなのが疑問に思うところでもあります。アメリカのカジノでは、ゲーミングの売り上げの割合が減少傾向にあるという調査もあるようで、夢洲IRにおいては、ノーゲーミング施設をより重視したスキームへと再考するべきだと考えます。
		⑧ 未選択	IR整備法では、整備計画を作る上で「住民の意見を反映させるために必要な措置」として、地元議会の承認とは別に、公聴会などの実施を義務付けており、国の審査でも「地域における十分な合意形成」が評価基準のひとつとなっています。府・市においては、これまで公聴会・説明会・セミナーなど相当の回数を開催し、合意形成に向けた取り組みが一定程度なできてきていると理解しています。一方で、本年4月14日に政府から下りた認可においては7つの条件が課されており、そのうちのひとつが「地域住民との良好な関係作り」「地域住民との対話の場を設け、理解を得る」となっており、国の審査では、地域住民に対するより丁寧な取り組みが求められており、開業に向けては必須条件であると考えます。
		⑨ 未選択	少子高齢化や人口減少の進展により、労働力の低下や社会保障費が増加する状況においても、子どもからお年寄りまでたれ一人取り残さない社会を構築していくことが、政治・行政には求められています。このため、各種施策の選択と集中や事業の効率化を行うことはもとより、いかに税収を確保してか様々な取り組みが必要であり、経済の活性化はその一手段であると考えます。IRの運営により生み出される各種税収が子ども・子育て支援も含めた行政施策へと循環されるという観点も必要かと思われま。ただし、上記4及び7で述べたとおり、来場者数の見込みやカジノ収入に多大な重点が置かれている現在のスキームでは、健全性を含めた夢洲IRの持続的な運営に疑問を感じるところです。

今回ご送付いただいたアンケートにより、私自身、夢洲IRについて、再度様々な角度から考察することができました。なお、アンケートの欄につきましては、各質問項目に対して、良い・悪い・どちらでもないな選択は難しいことから未選択とさせていただきます。行政施策においては、実施することによるメリット・デメリットを様々な観点から検討・議論した上で、進捗を図るものだと考えます。夢洲IRにおきましては、大規模プロジェクトから派生する様々な経済効果が期待できる一方、地域に与えるインパクトも大きいことから、開業に向けて国から課せられた7つの改善点や条件に対して、府民との対話を重ね歩み寄りを図りながら、より健全で持続性を感じられる整備計画へと修正されることを切に期待したいと思います。

野本政樹	維新政党新風	①	イ	私自身、昨年1月に公聴会に参加し、反対を訴えました。	新風（維新政党・新風）はIR並びに関西万博にも反対しております。維新の会という政党は新自由主義、グローバリズムの推進であり、国民の貧困化を招きます。公立学校、保育園の統廃合も由々しき問題であり、維新と提携している野田市長の政治姿勢も問われるべきです。
		②	イ		
		③	イ		
		④	イ		
		⑤	イ		
		⑥	イ		
		⑦	イ	利益を得るのは、MGM、オリックス、他の利権関係者のみ	
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
浜田智	宇田産業を身近にする党	①	イ		
		②	ア	日本の土木技術力は高いです。	
		③	イ		
		④	イ		
		⑤	イ		
		⑥	イ	まず町中のパチンコ屋をどうするのか	
		⑦	イ		
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
浅川拓郎	自民党	①	イ		
		②	イ		
		③	イ		
		④	イ		
		⑤	ア		
		⑥	イ		
		⑦	イ		
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
伊藤真樹	れいわ	①	イ	あくまで反対、最大の理由は儲からないから	れいわ新選組は大阪カジノ計画にあくまで反対していきます。カジノの是非を問う住民投票実施を求める署名21万筆を一顧だにしなかった、それが維新政治の本質をよく現していると思います。反対意見は顧みない。
		②	イ		
		③	イ	その金を福祉に回すべき	
		④	イ	USJの来場者数でも1500万人	
		⑤	イ	個人的にはそれ程強い反対理由ではない	
		⑥	イ	個人的にはそれ程強い反対理由ではない	
		⑦	イ	これが最大の反対理由です	
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
松平要	新社会	①	イ		win win.お互い様の大阪文化を根底から破壊するカジノには絶対反対です。阻止に向け、全力を挙げて活動します。
		②	イ		
		③	イ		
		④	ウ	見込みの根拠が明確にされていない	
		⑤	イ		
		⑥	イ		
		⑦	イ		
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
野田しょうこ	無所属	①	ウ	カジノに特化せず、人の流入が見込めるエンターテインメントがあればよいかとは思いますが。	いずれにせよ説明責任がなされておらず、税金の投入をする事への費用対効果を示し安全の担保も約束していただきたい。決定した時期と今の世の中のズレなど見極めるべきだと思っています。
		②	イ		
		③	イ		
		④	イ		
		⑤	イ		
		⑥	ウ		
		⑦	ウ	人の流入があれば若干の経済効果はある。	
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
嶋倉久美子	共産党	①	イ	場所の問題では万博もカジノも反対です。市民生活、教育にも悪影響だと思います。	収入は増えず、物価高騰の生活で何か変化を求める国民が行きつくところは？と考えさせられます。「カジノ反対」の声を切り捨てて突き進む政治を変えたいと強く思います。
		②	イ		
		③	イ	これだけでは済みません	
		④	イ		
		⑤	イ	悪化するのだからだと思います。	
		⑥	イ	韓国のカジノで地域住民が不幸になっていくドキュメンタリーが浮かびます。	
		⑦	イ		
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
塩田清人	共産党	①	イ	IRカジノはその大元はカジノ。カジノは賭博であり大阪にも世界にもパチ子はいらぬ	夢洲という汚染土壌、軟弱地盤に莫大な税金を投入して進めること自体も問題、しかも賭博カジノで大阪経済を良くしようという考えも根本から間違っている。理念上も財政上も人々の生活も子どもたちの未来も、防災上も、挙げればきりが無いほど間違っていると思います。これを進めることで大阪の未来が明るくなることはとても思えません。キッパリ中止すべきです。多くの皆さんの力でやめさせましょう。
		②	イ	軟弱地盤、汚染土壌で建物を建てること自体まちがいで、土壌改良も建設費も莫大になる	
		③	イ	とても790億では済まないし、そもそもそんな土壌の活用は大問題	
		④	イ	何の根拠もなく机上の空論。非合理的論議でしかない	
		⑤	イ	賭博の根本問題があり、治安の悪化はどう対策をとってもなくなり、治安を守るならカジノをやらないことが一番の対策	
		⑥	イ	ギャンブル依存症は本人も家族も不幸をもたらすことになる。対策をとると言っているが対策になっておらず、対策策をとらないといけなくて自分が問題。	
		⑦	イ	大阪の経済は賭博ではよくならない。本筋の中小企業対策、働く者の賃上げや支援策こそ行うべき。	
		⑧	イ	合意は全くできていない。21万筆の署名をいとも簡単に処理したことに表れている。	
		⑨	イ	子どもたちの未来をつぶすもの。カジノより当たり前の成長を育む教育とその環境づくりが必要	
		⑩	イ		

上原賢作	共産党	①	イ		
		②	イ		
		③	イ	本来事業者が負担すべきもの	
		④	イ		
		⑤	イ		
		⑥	イ		
		⑦	イ	大阪経済は破綻する	
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
浅野耕世	共産党	①	イ		大阪経済の再生にはカジノではなく、足元の中小企業、小規模企業者を大切にする施策を進めることこそ必要です。
		②	イ		
		③	イ		
		④	イ		
		⑤	イ		
		⑥	イ		
		⑦	イ		
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
長岡嘉一	共産党	①	イ	大阪にも日本にもカジノはいらない	
		②	イ	地盤沈下や台風の影響も受けやすく、建物の立地には向いていない	
		③	イ	カジノに税金投入は反対	
		④	イ	この見込みの根拠はわからない	
		⑤	イ		
		⑥	イ	対策するのなら、作らないのが一番の対策	
		⑦	イ	府民のお金がカジノに流れ大阪経済は余計悪化する	
		⑧	イ	20万人を越す署名にしっかり応えるべき	
		⑨	イ	カジノで競争力はつかないし、経済観念も狂わず	
		⑩	イ		
樽本丞史	無所属	①	ウ	反対に近い	カジノについて、良い、悪いの意見が2分すると思います。場所が問題では？経済(税収)的には必要かも。(外国人観光客のため)
		②	イ		
		③	イ		
		④	ウ		
		⑤	ウ	収益の配分によると思う	
		⑥	ウ		
		⑦	ウ	観光導線によると思う。	
		⑧	ウ		
		⑨	イ	カジノに興味が出るゲームなどが多い	
		⑩	イ		
神野淳一	共産党	①	イ	大阪に賭博場は必要ない	カジノ(IR)は中止を！私も引き続き東大阪市から声を上げ続けます！
		②	イ	なぜ夢洲なのか、決定プロセスを明らかにすべき	
		③	イ	「税金を使わない」と言っていたはず	
		④	イ	大阪USJより来場者数が越えるとはとても思わない	
		⑤	イ	賭博ですから治安は悪くなる	
		⑥	イ	カジノを中止することが一番の対策	
		⑦	イ	ギャンブル依存症が大量に増えるだけ	
		⑧	イ	住民投票を求める直接署名が府議会で1日の審議で否決を見れば、そもそも話し合う気がない	
		⑨	イ		
		⑩	イ	子どもの未来を壊す	
鳥居善太郎	自民党	①		未選択	カジノには反対です。
		②			
		③			
		④			
		⑤			
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		⑨			
		⑩			
無回答	公明党	・福元清文・米満綾子・伊針大樹・安田秀夫・岸本みつお・松尾武・菱田英次・馬場徳子・山崎駿海・十鳥雅雄・松川啓子			
	維新	・阪本つつか・小関祐貴・河村あきら・那須宏幸・高橋正子・中原健氏・森脇啓司・森田典博・横山幹祐・速水一生・井越智清代・金沢大貴・笹谷勇介			
	自民	・岩崎貴礼・川口泰弘・岡修一郎・西村潤也・右近徳宏・谷口かつじ・木村芳浩・岩木康			
	無所属	・児玉ゆうき・堂村慎太郎・中西進泰・大坪和弥			
市長予定候補					
内海公仁	無所属	①	イ	大阪の未来にカジノはいりません	一部の大企業の利益が優先され、住民の日常のくらしや中小企業に負担が押し付けられる新自由主義的政治を克服させましょう。市民運動が大きく広がるのが大切です。皆さんの活動に敬意を表します。
		②	イ	夢洲は可能な限りゴミ等の最終処分場として活用するべきです	
		③	イ	さらに増額されることが予想されている	
		④	イ		
		⑤	イ		
		⑥	イ	カジノを作らないことが最大の依存症対策になる	
		⑦	イ	実態経済の振興に力を注ぐべき	
		⑧	イ		
		⑨	イ		
		⑩	イ		
無回答	維新	野田義和			